

⑦中部横断自動車道（静岡・山梨間）の全線開通を契機とした地域活性化の取り組み ～峡南地域道の駅ネットワーク協議会～

受賞機関 山梨県 県土整備部 高速道路推進課
市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町

キーワード 道の駅を拠点とした地域活性化策、道の駅TV山梨、二次交通、サイクルルート

全建賞審査委員会の評価ポイント

道の駅をネットワーク化させた情報発信力の強化と地域活性化の取組。SNSとデジタルサイネージを連携させて観光振興を図るなどの取組の新規性や、県と沿線5町連携して、一体となって観光情報を発信するとともに、サイクルツーリズムの展開など二次交通を強化することで、地域の活性化を図った点が評価された。

1. はじめに

令和3年8月に中部横断自動車道（静岡・山梨間）が全線開通し、新東名高速道路と中央自動車道をつなぐ新たな大動脈となる高速道路ネットワークが形成された。

県の南に位置する峡南地域は、地域を通過する富沢IC～六郷IC間（約28km）が新直轄方式で整備されたことにより通行料金が無料であることから、来訪者が立ち寄りやすい優位性を持ち合わせている。



中部横断自動車道と峡南地域の概要

全線開通は、新たな観光ルートの構築など、沿線地域の活性化につながる絶好の機会であり、来訪者呼び込むため、県と沿線自治体5町及び関係機関で連携し、地域に点在する道の駅を拠点とした地域活性化策「峡南地域道の駅ネットワーク協議会」を立ち上げた。協議会では、地域の魅力・情報発信力の強化と、地域資源の磨き上げ・広報、効果のデータ調査分析など、峡南地域の観光振興や地域活性化に向け取り組んでいる。

*協議会構成員：受賞機関及び、国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所、道の駅とみざわ、道の駅しもべ、道の駅みのお富士川観光センター、道の駅富士川、道の駅なんぶ、峡南広域行政組合

2. 取り組みの概要

峡南地域にある様々な分野のたくさんの魅力を情報発信するために、道の駅等に設置したデジタルサイネージとSNSを連携させたシステム「道の駅TV山梨」を開始。各施設等と投稿から集めた旬な情報を、タイムリーに発信している。



また、来訪者の観光地での周遊を促すため、二次交通を確保する手段として自転車の活用を促進するサイクルルートを設定。ゲートウェイの役割を担う道の駅富士川にはレンタサイクル設備があるため、道の駅を起点に、「七福神巡りコース→市川三郷町に点在する寺院を巡り、御朱印集めが楽しめる」と、「風景満喫コース→富士川町の史跡巡りや絶景を満喫できる」の2コースを設定し、コースの路面にはブルーラインの設置を行うとともにサイクリングマップを作成・配布している。

そのほか、伝統工芸イベントや、各種広報活動など、地域と連携した取り組みを実施している。

3. 取り組みの成果

協議会では、取り組み効果をアンケートやビックデータにより調査分析し、結果を報告している。県外からの来訪者は増加し、新たな来訪客も獲得しており、「峡南に訪れる回数が増えた。」「観光の幅が広がった。」などという声が聞かれた。

4. おわりに

コロナ禍の最中の全線開通となったが、開通インパクトを生かした今回の取り組みは、地域活性化の一助に成り得たのではないかと思います。